

平成 20 年 6 月 11 日

各 位

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO 松本 大
(コード番号 8698 東証第一部)

「ART IN THE OFFICE」プログラムについてのお知らせ

当社は、社会文化活動の一環として、新進アーティストの支援を目的とした「ART IN THE OFFICE」プログラムを開始いたしました。本プログラムは、当社内の会議室にアートを施すアーティストを募集するもので、今回は多数の応募者の中から坂口恭平氏が選出されましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

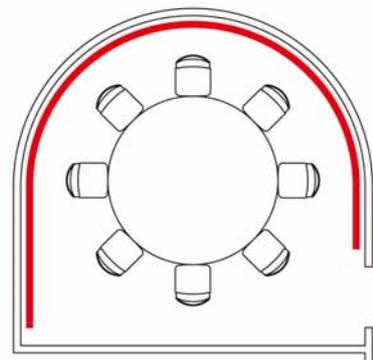
1. 「ART IN THE OFFICE」プログラムについて

(1) 概要および目的

本プログラムは、コンテンポラリーアートの分野で活動するアーティストの支援を目的として、当社が主催し、特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]（以下「AIT」）の協力により企画いたしました。公募により選出された1名のアーティストに対し、2008年7月から約半年間、当社内の会議室を応募作品の発表の場として提供するものです。選出されたアーティストには20万円の賞金および10万円の制作費が支払われます。また、本プログラムによる作品は、当社のアニュアルレポート等にも掲載される予定です。

(2) 募集内容

対象： コンテンポラリーアートの分野で活動するアーティスト
作品： 会議室の壁（曲面）に展示する平面作品案（油彩、水彩、写真など）
募集期間： 2008年4月21日（月）～2008年5月27日（火）（終了）
会議室写真およびレイアウト：



(3) 審査員（敬称略／50音順）

サンプラザ中野くん（ミュージシャン）
塩見有子（AIT理事長）
那須太郎（タロウナスギャラリー代表）
槇村さとる（漫画家）
松本大

2. 選出されたアーティストについて

(1) 坂口恭平（さかぐちきょうへい）氏プロフィール

1978年熊本県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。在学中より現代建築の在り方に疑問を持ち、都市に存在している、専門家ではない人々によって建てられた無名の建築物、庭の調査を行う。卒業論文として発表した路上生活者の家の調査が、2004年に「0円ハウス」という写真集としてリトルモアから出版される。その後、世界各地で出版され、それに伴いベルギー、メキシコで展覧会を開催する。2006年にはカナダのバンクーバー州立美術館にて初の個展を開催し、その後カナダ国内を巡回。2007年にはケニアのナイロビ、フランスのサン・ナザレでの展覧会に参加。2008年1月に、隅田川沿いに暮らす都市生活者の達人の生態を描いた「TOKYO 0円ハウス 0円生活」を出版、さらに小説「隅田川のエジソン」も4月に出版された。

坂口恭平氏ホームページ「0円ハウス」 <http://www.0yenhouse.com/house.html>

(2) 応募作品

タイトル： Dig-Ital City （ディグ・アITAL・シティ）

コンセプト： キャンパスの上にマジックペンのみで描かれていく架空の都市

(3) 選出理由

サンブラザ中野くん氏

「緻密で格好良く、ポップである。マネックスにもいつまでもそうあって欲しい。」

塩見有子氏

「たくさんのチャレンジングな応募作品のなかでも、曲面の壁をうまく利用した提案。会議室にある心地よい椅子に座りながら、さらにそこから外へ飛び出して、東京という大都会の営みに思いをめぐらせることができる作品で、惹きつけられた。」

那須太郎氏

「作品からは、作家としての強いモチベーションを感じた。」

槇村さとり氏

「テクニック、密度ともバツグン。」

松本大

「多くの本当に素晴らしい応募の中から選ぶのは楽しくもあり、辛くもあったが、最後はとてもフィーリングの合うこの作品案を選んだ。」

以上

【お問合せ先】

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社

社長室 コーポレートコミュニケーション担当 久保田・金井 電話 03-6212-3750